

## 松蔭大学大学院看護学研究科看護マネジメント専攻（修士課程）

研究科名	松蔭大学大学院看護学研究科看護マネジメント専攻	
入学定員	6名	
収容定員	12名	
修業年限	2年（長期履修制度の場合は4年間）	
修了要件	修業年限在学し、所定の単位（30単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出しその審査及び最終試験に合格すること	
学位	修士（看護学）	Master of Nursing Science
英訳の名称		
	松蔭大学大学院	Shoin University Graduate School
	看護学研究科	Graduate School of Nursing Science
	看護マネジメント専攻	Department of Nursing Management

### 養成する人材像

地域包括ケアシステムの構築に基づいて、人間に対する深い洞察力と高い倫理観をもち、科学的根拠に基づき、個々のニーズや生活の変化から生じた施設内看護、地域・精神保健における看護ケアの課題を解決できる指導力、教育力、研究力を有し、それらの能力を活かして、社会に貢献できる人材の育成を目的とする。

### 3つのポリシー

#### 1. アドミッション・ポリシー

AI時代といわれる中、保健・医療に関する学問の独自性がこれまで以上に問われることになる。これまで培った知識や経験を基盤にし、看護ケアの課題を解決できる能力を有し、社会に貢献する人を育成するため次の通りに入学者受け入れ方針を設定した。

- ① 保健・医療の各領域の基礎的な知識・技術を有する人
- ② 人々の看護ケアにおいて教育・研究・実践の発展に貢献することを志す人
- ③ 倫理的な感受性と判断力をもって行動でき、協調性があり、積極的に意見を表明することができる人

## 2. カリキュラム・ポリシー

人間に対する深い洞察力と高い倫理観をもち、科学的根拠に基づき、個々のニーズや生活の変化から生じた施設内看護、地域・精神保健における看護ケアの課題を解決できる指導力、教育力、研究力を有し、それらの能力を活かして、社会に貢献できる人材の育成を目的とするための科目を設定した。

- ① 学際的な豊かな知識を身につける科目と高い倫理観を身につける科目を設定した。
- ② それぞれの専門分野（施設内看護、地域・精神保健）における最新の知見を得て、教育・指導力を身につける人材の育成を図れるように科目を設定した。
- ③ それぞれの専門分野（施設内看護、地域・精神保健）における課題解決ができるように研究倫理を遵守し、論文の作成が行えるように科目を設定した。

## 3. ディプロマ・ポリシー

修了要件となる単位を修得し、次の資質・能力を身につけるとともに、修士論文の審査および最終試験に合格した人に対し、学位（修士（看護学））を授与する。

- ① 学際的な豊かな知識と高い倫理観をもって、看護ケアの健康課題を包括的に理解し、かつ既存の枠組みにとどまらず、健康課題に関する判断力、および看護マネジメントの基盤を身につけている。
- ② 看護マネジメントに関する計画、調整、相談、教育、指導などの卓越した能力を身につけている。
- ③ 各自の経験を通じて得られた課題を基に、理論的枠組みを用いて課題解決を目指して、豊かな学識を基盤に自立した研究活動を進めることができる能力を身につけている。

## 入学選抜

総合型選抜で行う。

場所 厚木森の里キャンパス

(1) 第1回事前面接（次の書類を提出）

- ㊶出願資格申請書
- ㊷志望理由書
- ㊸研究計画書
- ㊹経歴書
- ㊺最終学校の卒業証明書

事前に出願資格認定の審査を受けなければならない。

(2) 総合型選抜入学試験

- ㊻小論文
- ㊼個人面接

## 出願資格

- ① 本研究科に入学しようとする者は、学校教育法施行規則（昭和22年5月23日文部省令11号）第70条の定めにより、次の各号の一に該当する者とする。
  - 一 学校教育法（昭和22年3月31日法律第26号）第52条の大学を卒業した者
  - 二 学校教育法第68条の2第3項の定めにより学士の学位を授与された者
  - 三 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
  - 四 昭和28年2月7日文部省告示第5号により文部大臣の指定した者
  - 五 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本大学院が認めた者
  - 六 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者

## 教育課程等の概要

(看護学研究科 看護マネジメント専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基礎科目	健康マネジメント概論	1前	2			○		
	健康と環境	1後		1		○		
	健康と人権の政治経済学	1前		2		○		
	ヘルスケア倫理学	1前	1			○		
	研究方法論	1前	1			○		
	保健統計	1前		1		○		
	看護理論特論	1前		1		○		
	社会保障論	1後	1			○		
	経営管理特論	1後	1			○		
	コンサルテーション論	1後		1		○		
	健康寿命特論	1後		1		○		
	日本の社会と健康観	2前		1		○		
	地域医療とICT	2前		1		○		
	感染症特論	2前		2		○		
小計(14科目)	—	—	6	11		—		
専門科目	看護管理特論	1前		2		○		
	看護倫理特論	1前		1		○		
	看護政策特論	1後		1		○		
	看護倫理演習	1後		2			○	
	看護管理演習	2前		2			○	
	環境産業保健学特論	1前		2		○		
	精神保健特論Ⅰ	1前		1		○		
	保健行動学特論	1後		1		○		
	精神保健特論Ⅱ	1後		1		○		
	保健行動学特論演習	2前		2			○	
	精神保健特論演習	2前		1			○	
小計(11科目)	—	—	—	16		—		
科 研 目 究	課題研究	1通～2通	10				○	
	小計(1科目)	—	10				—	
合計(26科目)		—	16	27	0		—	
学位又は称号		修士(看護学)						
学位又は学科の分野		保健衛生学関係						
卒業要件及び履修方法								
1. 次の各号にわたって必修科目を含め30単位以上を履修し、修得しなければならない。 一 基礎科目においては、必修科目6単位を含め、10単位以上を修得すること。 二 専門科目においては、10単位以上を修得すること。 三 研究科目においては、10単位を修得すること。 四 「看護管理特論」の1科目2単位または「精神保健特論Ⅰ」と「保健行動学特論」の2科目計2単位のどちらかを選択必修とする。 2. 本研究科に2年以上在学し、必要な研究指導を受け、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。								

授業料等

入学金	330,000円
授業料	690,000円
教育充実費	140,000円
演習費等	80,000円

初年度計 1,240,000円